

中 1 理科実験の様子



中学 1 年生の生物地学の授業では、現在大地の変動について学習しています。教室での授業だけではなく、実験室で手を動かしながら大地がどのように変化していくかを体感しながら学んでいきます。今回行った実験は、噴火によって形成される火山の形が、マグマの粘り気によってどのように影響を受けるかを考えるものです。小麦粉と水の配分を変化させること

でマグマの粘り気の違いを再現しています。小麦粉の入った袋からゆっくりと小麦粉を押し出していき、噴火時にマグマがどのように移動するのかを観察しました。

次回の実験では火山灰に含まれる鉱物を探します。授業で覚えた鉱物の特徴と照らし合わせながら鉱物の名前を確認していきます。



小麦粉の広がる面積を調べるため、方眼紙に印をつけていきます。